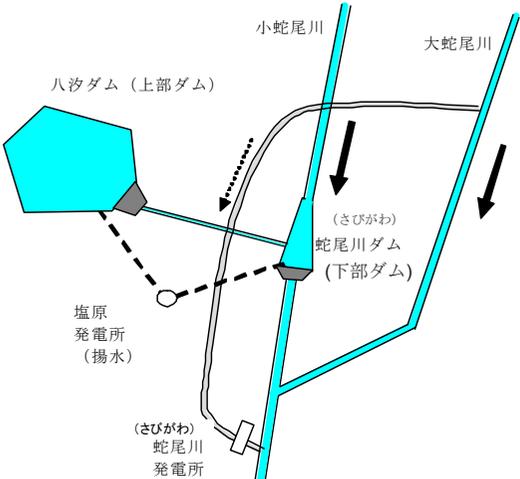
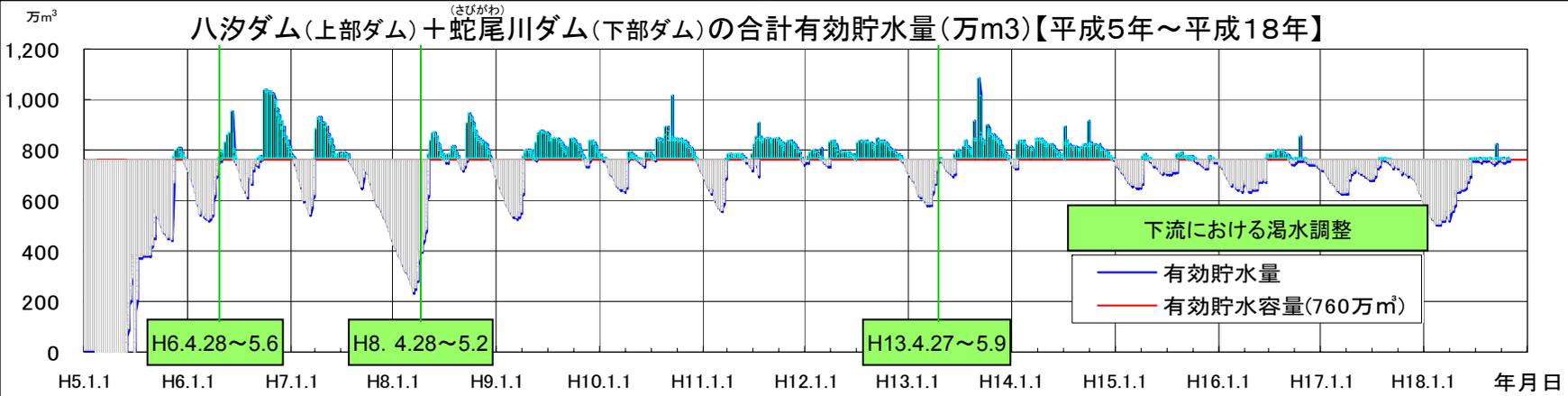


しおばら やしお
塩原発電所（東京電力）「八汐ダム」

ダム湖底への浸透水が大量にあるにもかかわらず、それを補充するため、**大量の違法取水**をおこなっていたもの（下流の渇水調整時含む）。
 また、当該事実を隠ぺいするため、報告データを改ざんしていた。



- ・ 那珂川水系（栃木県）
- ・ 最大出力 :900,000kw
- ・ 有効貯水容量:760万m³
 （揚水式）
- ・ ロックフィルダム
- ・ 堤長 :263m
- ・ 堤高 : 90m



かわい 川合発電所（関西電力）

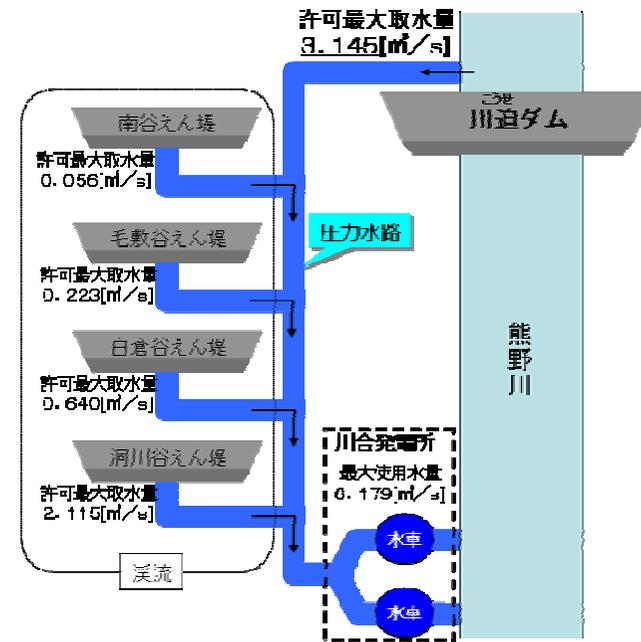
- ・新宮川水系（奈良県）
- ・最大出力 :7,000kw
- ・最大使用水量:6.179m³/s

こうせ
川迫ダムからの取水について、**現行許可内容の範囲内で取水管理を行うことができない**事実を明らかにしないままに現行許可を得、超過取水を行ったもの。また、取水量報告データを改ざん。

とちう 栃生発電所（関西電力）

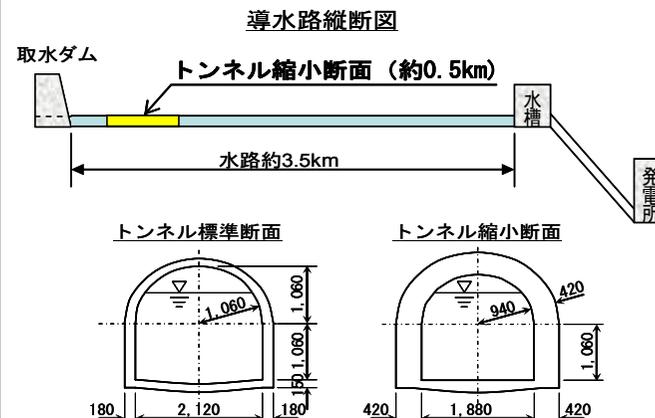
- ・淀川水系（滋賀県）
- ・最大出力 :1,370kw
- ・最大使用水量:5.570m³/s

取水量に係る**虚偽の申請**により、**導水施設の通水能力を超える許可取水量を取得**していたもの。



導水路の通水量

導水路の断面縮小により約4.27m³/sしか通水できない。これは、建設時の地質不良により必要通水断面積を確保できなかったことが原因と推測される。



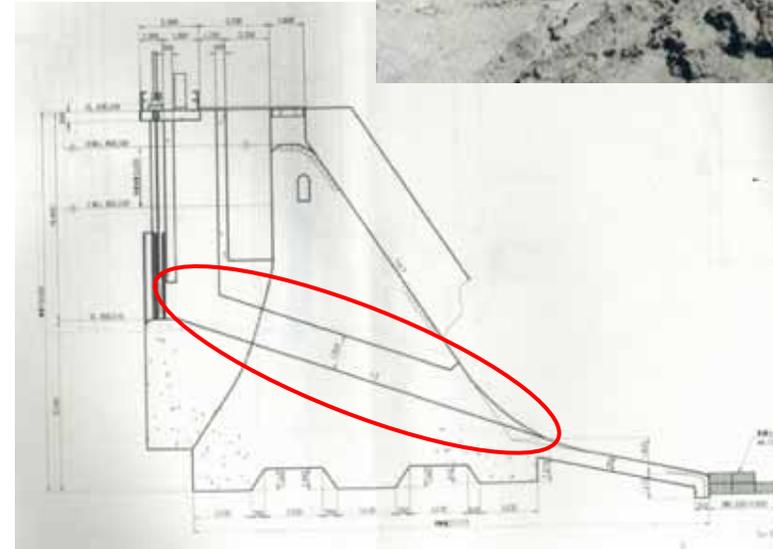
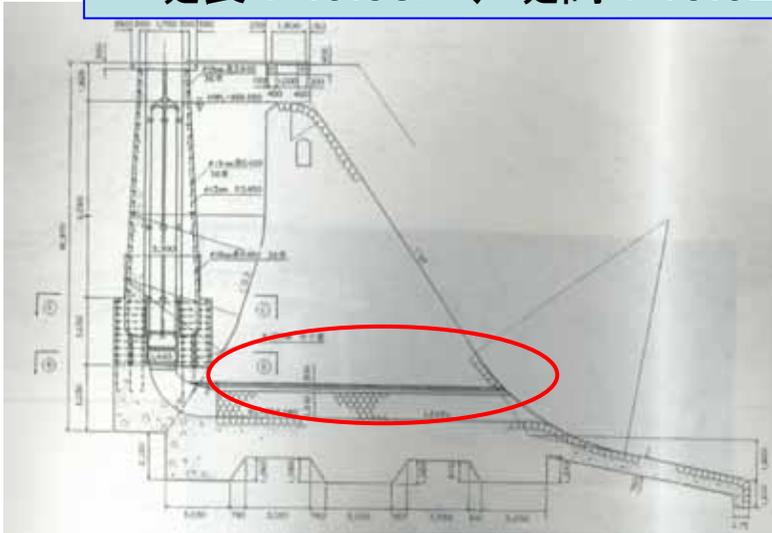
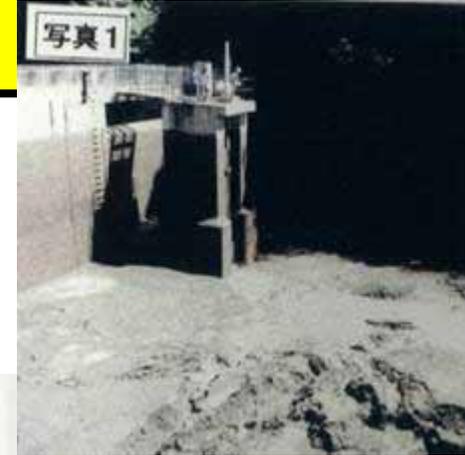
こむかわだいさん

小武川第三発電所（東京電力）

かみくりざわがわ

「上来沢川ダム」

- ・ 富士川水系（山梨県）
- ・ 最大出力 :2,200kw
- ・ 最大使用水量:1.22m³/s
- ・ 重量式ダム
- ・ 堤長：49.58m、堤高：19.02m



無許可でダム堤体を貫通する排砂管の付替という大規模改築工事を行ったもの。また、さらにダム定期検査においてもその事実を隠ぺいしていた。

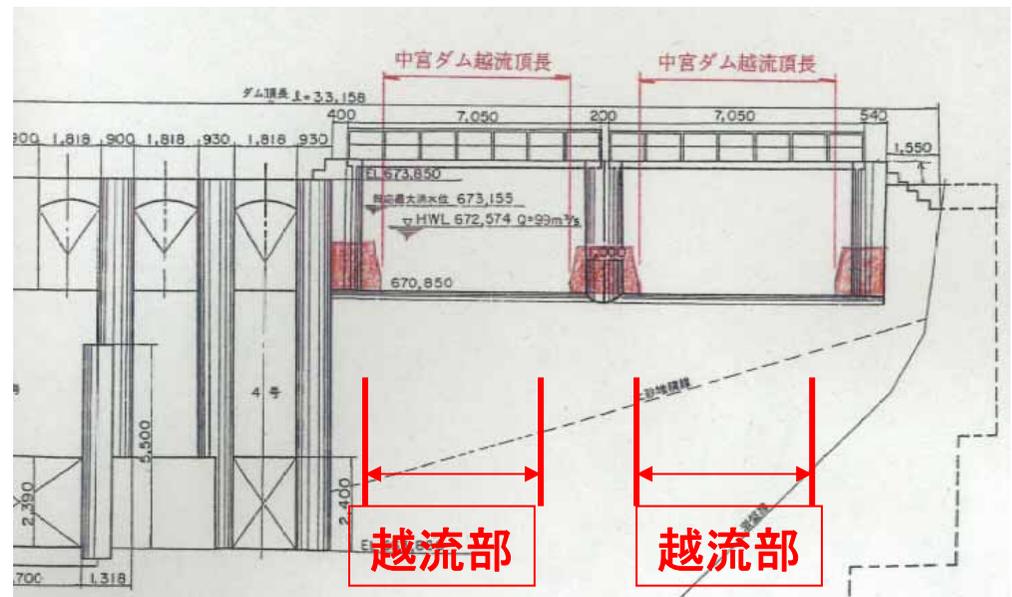
ちゅうぐう

中宮発電所（北陸電力） 「中宮ダム」

無許可の管理橋のピア部補強根巻き施工により、**越流頂長が流下断面を阻害**している。

手取川水系(石川県)
最大出力 :3,000kw
最大使用水量:1.670m³/s
コンクリート重力式ダム
堤頂長:33.2m、堤高:16.6m

管理橋 ピア部補強のため根巻き
越流頂長 12.5m→10.64m

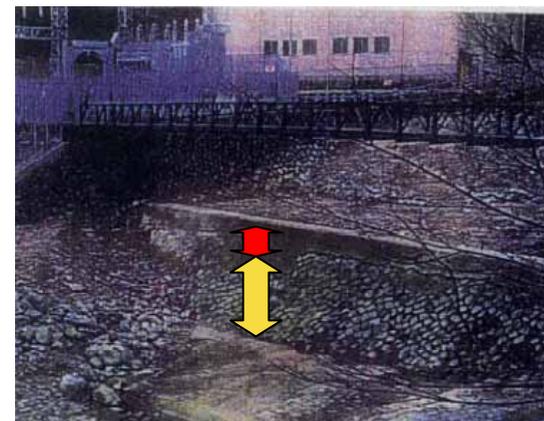
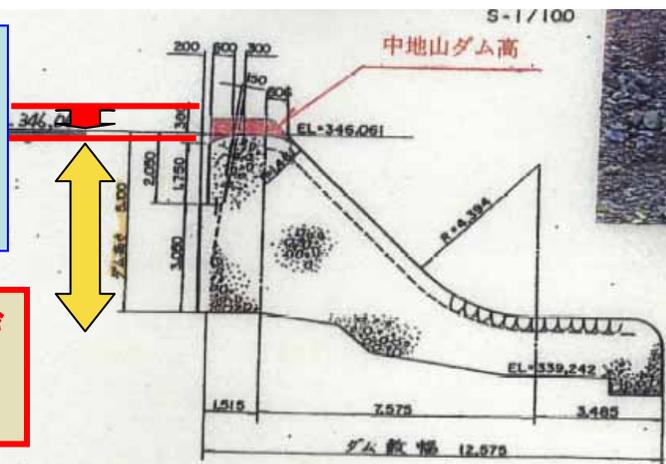


なかちやま 中地山発電所（北陸電力） 「中地山ダム」

無許可の嵩上げにより構造物の安定性に問題が生じている。

常願寺川水系（富山県）
最大出力 :2,400kw
最大使用水量:6.120m³/s

ダム高 0.5m嵩上げ
5.10m→5.60m

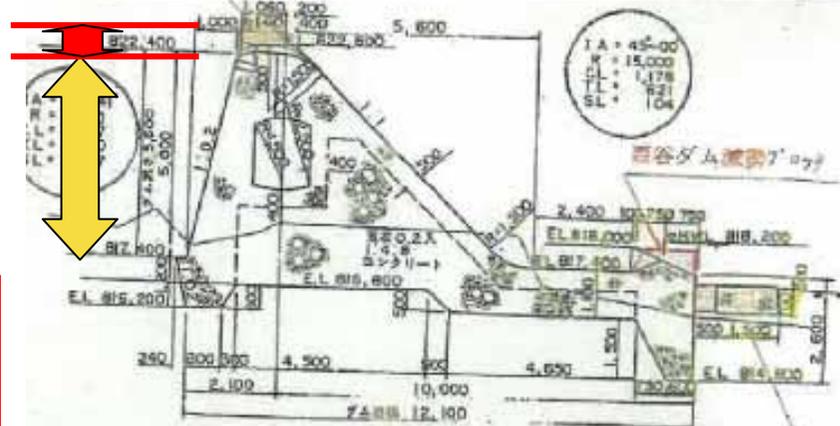


いちのせ にしたに 市ノ瀬発電所（北陸電力） 「西谷ダム」

無許可の嵩上げにより構造物の安定性に問題が生じている。

手取川水系（石川県）
最大出力 :6,200kw
最大使用水量:7.000m³/s

ダム高 0.5m嵩上げ
5.60m→6.10m



また の がわ

俣野川発電所（中国電力） 「土用ダム」

どよう

水利使用規則（許可の条件）で報告を求めている堤体の安全性に関わるデータを改ざんしたものの。

- ・ 日野川水系（岡山県）
- ・ 最大出力 :1,200,000kw
- ・ 最大取水量:300m³/s
- ・ ロックフィルダム
- ・ 堤長:480m、堤高:86.7m



○ダム本体の「沈下量」「たわみ量」について

平成3年から平成9年にわたり改ざん

※沈下量：ダム自重や空隙が圧密されることにより沈下をする量。

※たわみ量：ダムに貯留した水や堆砂により、ダムに側面から力が加わり変形する量。

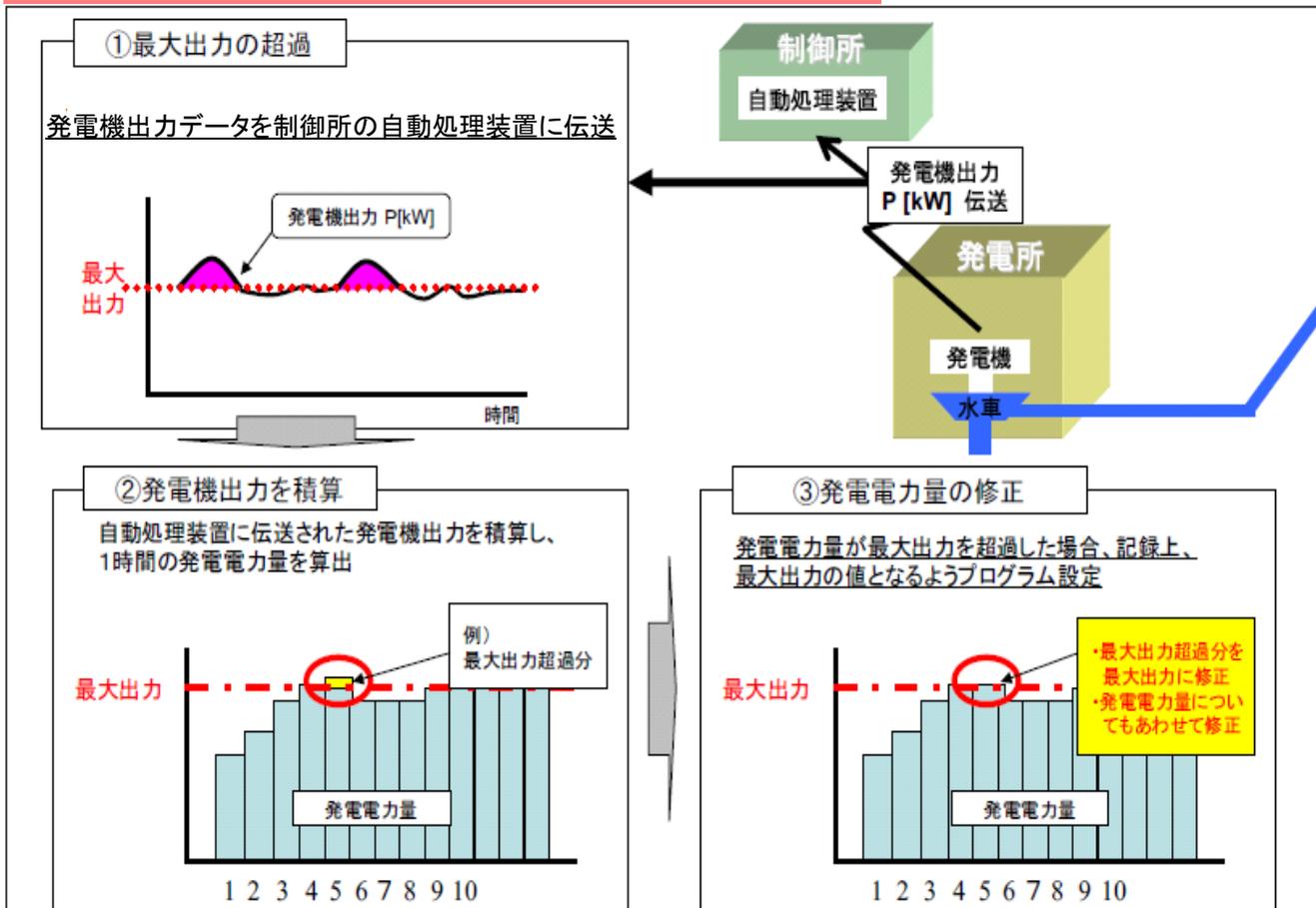
○改ざん的事实を平成10年以降把握しながら、長年にわたり隠ぺい。

※水利使用規則に基づき、水利使用者が計測し河川管理者に報告する義務がある。

取水量の上限設定プログラム (いわゆるリミッター)

許可水量以上の取水があった場合にも許可取水量以内として記録するという **不適切なプログラム** を施したもの

発電データの修正に伴い取水量データも修正されるケース



発電データの修正によらず取水量データを改ざんしているケースもあり

